

# バリオペッド 2-75 取扱説明書



**sachtler**

## はじめに

このたびはザハトラーバリオペッド 2-75 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用になる前に、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また本書は必要なときにいつでも読めるよう、大切に保管してください。

## 1 安全に使用するために

本取扱説明書では、お使いになる方や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をご理解のうえ、以下の事項を必ずお守りください。



**警告**

取扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。



**注意**

取扱いを誤った場合、使用者が「軽傷を負う可能性または物的損害を発生する可能性が想定される」内容を示しています。

⇒ 空気コラムは 12bar (174psi) までの気圧をかけることができます。



**警告**

万が一コラムカバーの一つが破損している場合、そのまま使用すると怪我をする恐れがあります。必ずサポートサービスによる修理を受けた後に改めて使用するようになしてください。



**警告**

コラムはドリーに正しく固定されていることが確認できるまでは使用しないでください。



**警告**

コラムに何も搭載していない状態では運搬ロックを決して解除しないでください。



**注意**

コラムを”LOCK”もしくは”DRAG”の状態では決して押し下げないでください。

## 2 各部名称

バリオペッド 2-75 はスタジオ用 3 段ペDESTALです。昇降幅は 77cm あります。

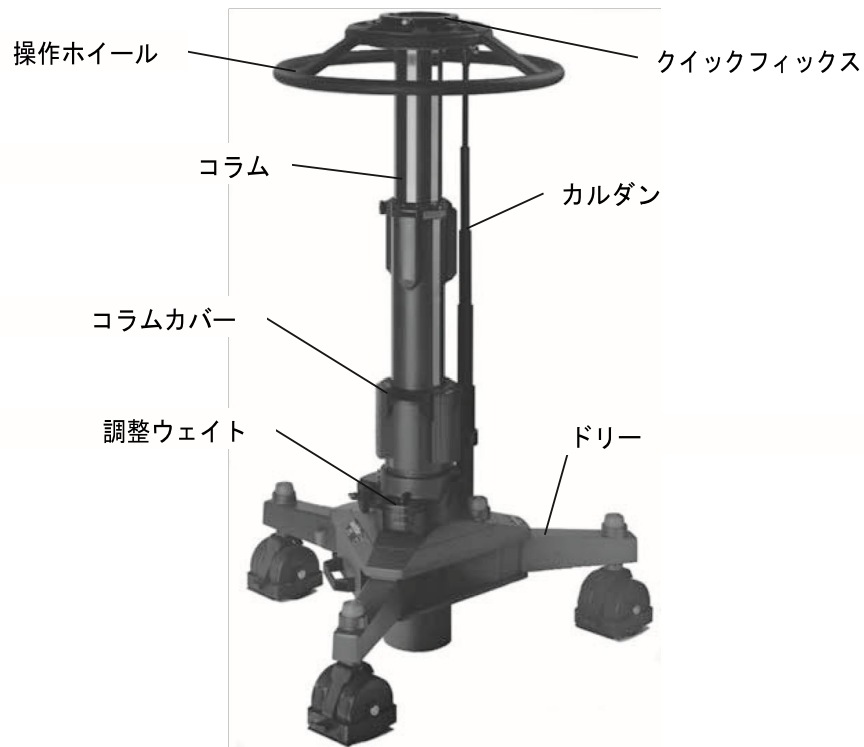


写真1

## 3 実際の操作

ペDESTALのセットアップを行う際は、以下の手順に従ってください。

- ⇒ ドリーへコラムを取り付ける。
- ⇒ コラム上に搭載機材をしっかりと固定させる。
- ⇒ 運搬ロックを解除する。
- ⇒ 何もしない状態でコラムが上昇するまで空気を入れる。
- ⇒ ペDESTALに設けられた空気注入バルブロにより空気圧の微調整を行う。

## 3.1 ペDESTALのセッTアップ

### 3.1.1 ドリー

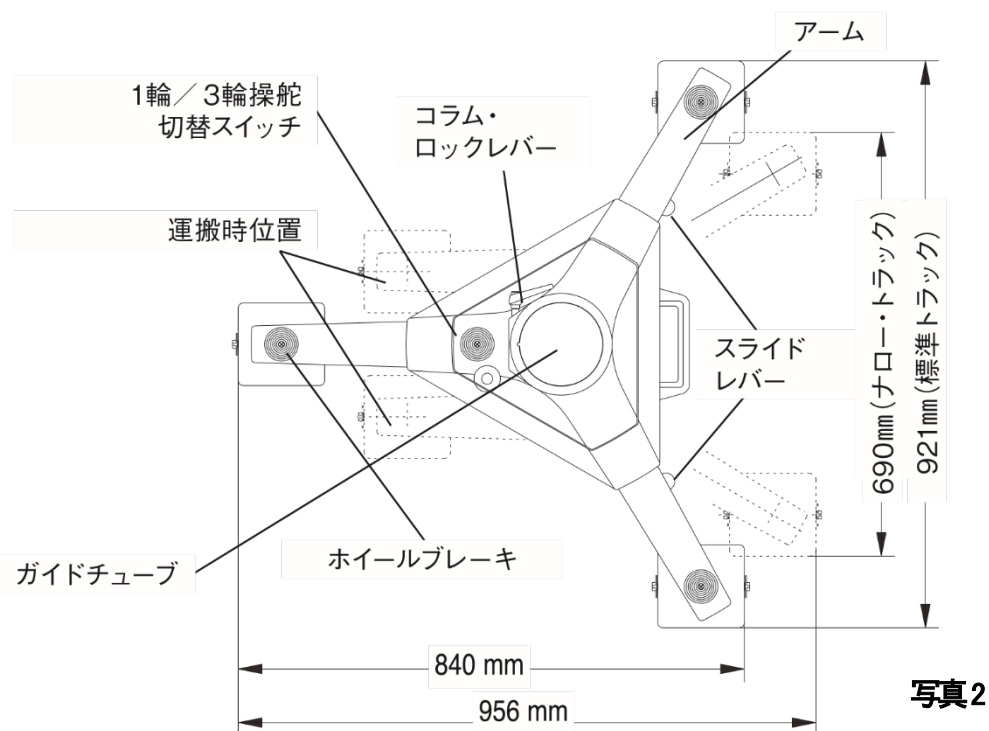


写真2

ドリーの側面に備わっている赤いスライドレバーを下へ押し下げながら、アームを広げてください。アームを展開した後、スライダーを離します。スライドレバーが自動的に持ち上がり、アームが再びロックされることを確認してください。

1. ロックポジション = 標準トラック 92cm
2. ロックポジション = ナロー・トラック 69cm

### 3.1.2 コラム

コラムをドリーへセットする前にドリー側のコラム・ロックレバーが十分ゆるんでいることを確認してください。

コラムを垂直に、ガイドチューブの中に挿入してください（その際、コラム側のカルダンおよびセンタリングピンとドリー側のカルダン挿入口およびセンタリングピン挿入口が合うように挿し込んでください）。コラム・ロックレバーを締めコラムを固定します。

このとき、ロックレバーを締め過ぎないようにしてください。指 1 本で締められる程度で十分です。

最後にコラム上部の操作ホイール取付部を 180°以上回すと、カルダンが自動的にドリーへのステアリング機構に連結します。

### 3.1.3 操作ホイール

操作ホイールは付属の 3 つのネジで、上部に取り付けます。ネジの締め込みには、ドリー側に備え付けの 4mm レンチを使用してください。

操作ホイール上には、ペDESTALの進行方向を示す目印になる可動式の赤いクリップが付いています。

## 3.2 カメラのセットアップおよびコラムへの空気注入手順

操作ホイールを回し、クイックフィックスの赤い矢印（クランプネジ・工具挿入口）とホイール側の赤い矢印（窪み）が揃う位置まで移動させてください（2 箇所赤い矢印が重なる部分を目印にしてください）。

三脚ヘッド固定用のクイックフィックスを緩めるには、ドリーに備え付けの 6mm レンチを使用します。クイックフィックスを緩めると、赤い目印ピンが外に突き出します。三脚ヘッドを搭載し、クイックフィックスをロックしてください（赤い目印ピンが引っ込みます）。

クイックフィックスにはすべての sachtler 製フラットベース仕様のヘッドが、直接もしくはアダプターを介して取り付け可能です。他社製のヘッドを搭載する場合は、取り付け前に互換性を確認してください。



**警告**

撮影機材をすべてコラム上に搭載して（最大耐荷重量：75kg 三脚ヘッド重量含む）はじめて、コラムを押し下げ、ロックレバーを外し、運搬ロックを解除するようにしてください。



**警告**

搭載機材を載せないまま、運搬ロックを外すと、コラムが急に上昇する恐れがあり危険です。

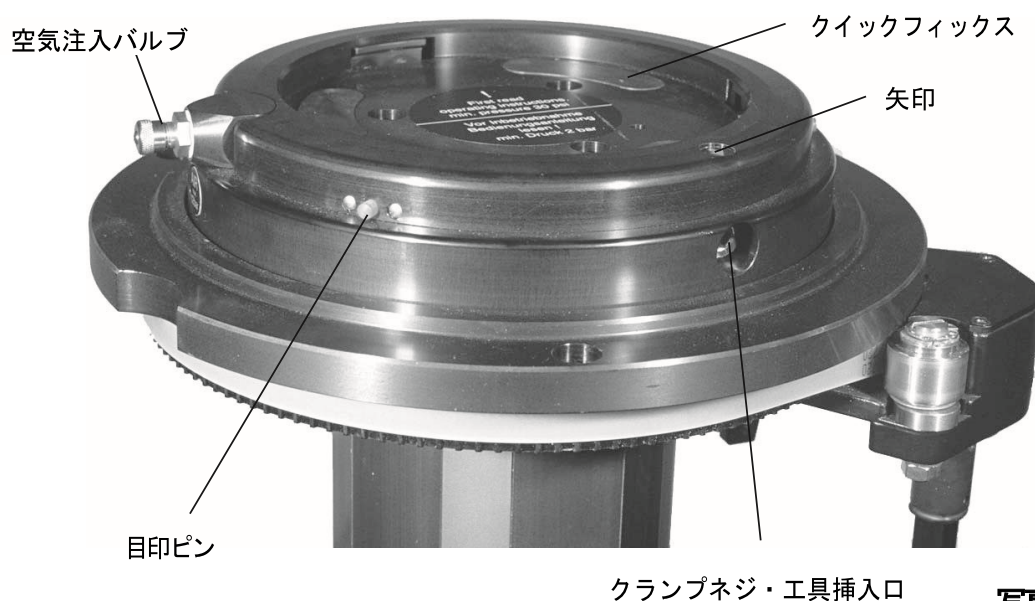


写真3

コラムには必ず空気を入れて使用してください。空気を注入する前に運搬ロックが解除されていることを確認してください。空気の注入は、コラムを下げた状態で、付属のポンプを用いて行ってください。コラム内への過加圧を防止するため、コラムには安全バルブが設けてあります。

内蔵ワイヤーのテンションを一定に保つため、通常コラムには 2bar の最小空気圧が入っています。10kg の荷重を支えるために必要な耐荷重量に相当します。

ポンプをクイックフィックス側面に設けてある空気注入口へ接続し、空気を注入してください。途中片手を軽く添えた状態で、数回コラムを持ち上げ空気が適切に注入されているか確認します。

放送中のあらゆる気温の変化を補うために、コラムには調整ウェイトが 6 個備わっています。

コラムが自動で上昇するようになるまで、空気を注入してください。

接続したポンプもしくはコンプレッサーをコラムから外し、コラムが任意の位置で正確に止まるよう、空気注入バルブのセンターピンを押し、空気圧の微調整を行います。

## 3.3 ドリー機能の詳細

### 3.3.1 ホイールブレーキ

各ホイールは赤いホイールブレーキを押すことで、個別にロックを掛けることができます（ノブの赤い部分のみが見えている場合は、各ホイールがロック状態であることを示します）。

ノブを再度押すと、ロックは解除されます（ロックが掛かっていない場合は、ホイールブレーキの赤い部分の下に緑の目印リングが見えます）。

### 3.3.2 1輪/3輪の切り替え

3箇所のホイールを操舵させるには、ドリー中央部にある赤いノブ（1輪/3輪操舵切替スイッチ）を押し下げてください。1箇所のホイールを操舵させるには、もう一度赤いノブを押します。このとき、緑のリングが表れます。新たに操舵を切り替えた後は、ホイールを180°回転させてください。ホイールが180°以内の所定の位置にきて、切り替えが完了します。

### 3.3.3 ホイールとケーブルガード

ケーブルガードをセットするには、ホイール前後のクランプノブを緩めると、ケーブルガードが動くようになります。ガードを任意の高さに移動させ、再びノブを締めてください。

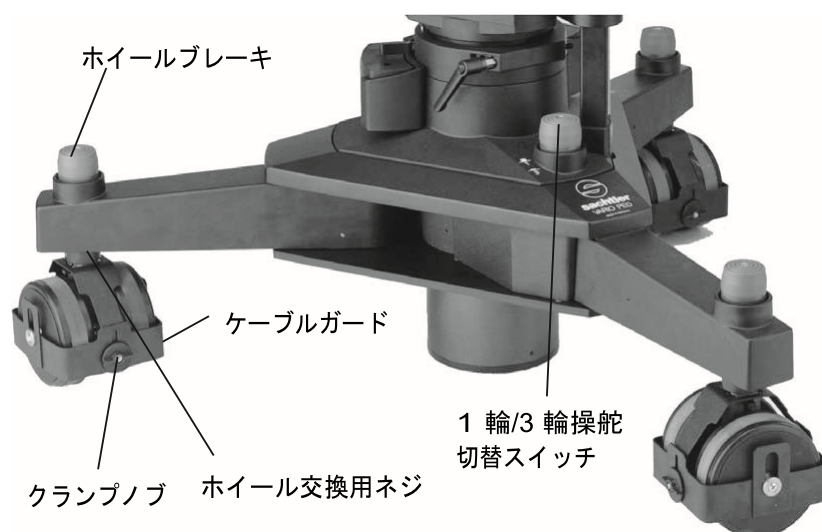


写真4

## 3.4 コラム機能の詳細

### 3.4.1 クイックフィックス

様々なヘッドを取り付けるために、コラムにはクイックフィックスを取り付けます。付属の6mmレンチを使用し、側面のクイックフィックス・クランプネジを回すと、留め金が動きます。クイックフィックスの外側に赤い目印ピンが出ている場合は、クイックフィックスが「開放」位置にあることを示します。

### 3.4.2 コラムブレーキ

コラムブレーキ（コラムの側面にある“LOCK”ノブ）は操作ロックとして機能し、あらゆる任意の位置で留めることが可能です（赤＝ロック、緑＝解除）。レバーは常に最後まで回すようにしてください。この機構の耐荷重量は10kg までです。

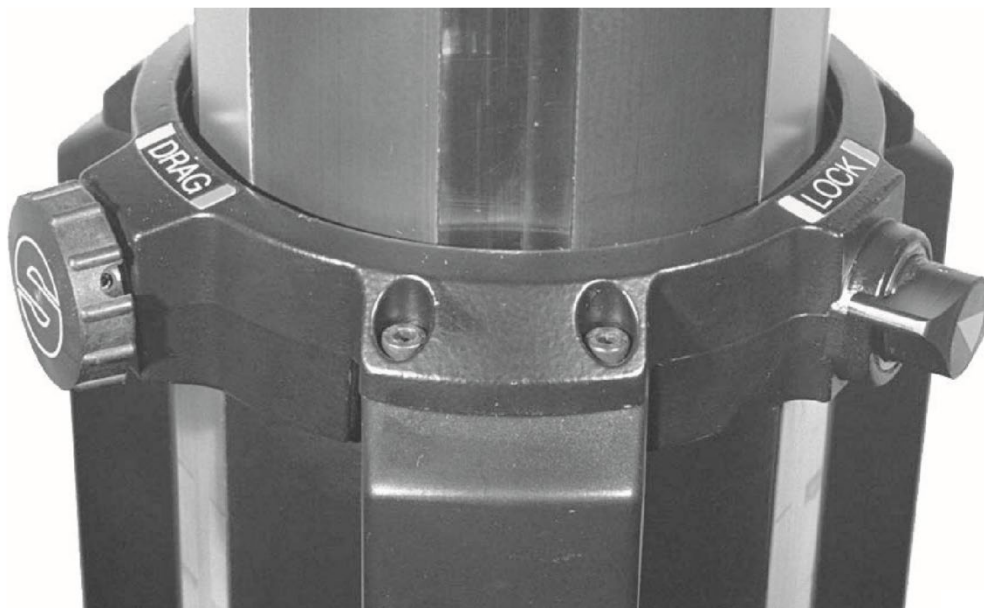


写真5



**警告**

運搬時はロックを開放状態にしてください。

ブレーキがロックされた状態で、コラムを押し上げ／押し下げると、内部ケーブルが巻き込まれる恐れがあります。



---

### 3.4.3 ドラッグ

“DRAG”調整ノブを時計回りに回すと、ドラッグ量が増加し、予期せぬコラムの上昇を防ぐことができます。こうした上昇は、通常フルードヘッドのカウンターバランス量が多い状態で急にチルトさせる、もしくは過剰に大きなカムカーブのカムヘッドをチルトさせると起こります。

## 3.5 調整ウェイト

バリオペッドには、調整ウェイト（0.8kg x 6個）が付属します。これは放送中にコラム内の気圧調整をすることなく、気温の変化によるコラム内の空気圧の変化に対応するためのものです。調整ウェイトを使用することで、8℃までの気温変化に対応することが可能です。（鉛に直接触れないよう、調整ウェイトはプラスチックでコーティングされています。）

操作ホイールの上部には、調整ウェイトを収納するための専用ケースが備わっています。

ドリーには、調整ウェイト運搬用のボックスが搭載されています。運搬中はロックレバーをかけることで、ウェイトの脱落を防止できます。

## 4 トラブルシューティング

本製品が正しく作動しない場合は、以下のトラブルシューティングを参照してください。

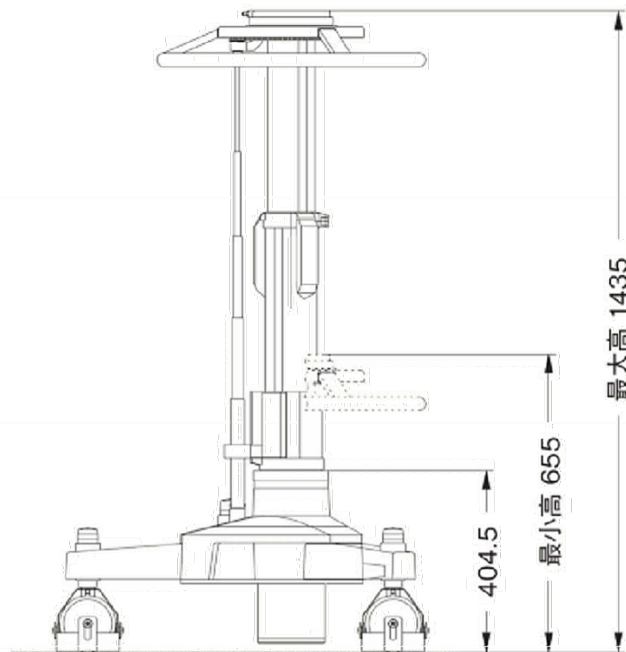
| 問題                                 | 対処法  |
|------------------------------------|--|
| ドリーが進みにくい                          | すべてのホイールブレーキを開放してください。   |
| ドリーが進まず、ステアリングホイールが回転する            | コラムがドリーにしっかりと取り付けられているか確認し、クランプを緩め、再度コラムを挿入し直してください（セットアップの手引き参照）。             |
| 1 箇所以上のホイールが一方方向に動かず、ドリーを押しても動かない。 | 過荷重保護機構が外れていないか確認してください。もし外れている場合は、同一方向を向いていないホイールを、回してください。所定の位置で保護機構が解除されます。 |
| コラムがドリーの中に入らない                     | ドリー側のコラム・ロックレバーが十分緩んでいるか確認してください。  |
| コラムの運搬ロックが開放しない（コラムが十分に沈まない）       | コラム内の気圧が高すぎないか確認してください。もし高すぎる場合は、減圧してください。                                     |
| コラムが動かない、もしくは動かみにくい                | コラムブレーキおよびドラッグが開放状態か確認してください。  |

## 5 テクニカルデータ

### 5.1 主な仕様

|              |         |
|--------------|---------|
| 最大荷重：        | 75kg    |
| 最小高：         | 66cm    |
| 最大高：         | 143cm   |
| オンショットストローク： | 77cm    |
| クリアランス：      | 69~92cm |
| 重量：          | 55kg    |

### 5.2 寸法図(mm)



## 6 保証

本製品の保証期間は1年間です。

ただし、次の場合には当社の保証が適用されません。

- ⇒ 本製品が不適切に取り扱われた場合、またはテクニカルデータに記載された条件の範囲外で使用された場合。
- ⇒ 当社が認定していない者が製品を分解した場合。



**お問い合わせ先：**

**ヴィデナムプロダクションソリューションズ株式会社**

〒105-0011 東京都港区 芝公園 3-1-38

芝公園三丁目ビル 1階

電話：03-5777-8040 FAX：03-5777-8041

**大阪オフィス**

〒531-0072 大阪市北区 豊崎 5-2-13

電話：06-6359-2440 FAX：06-6359-2441



※本取扱説明書の内容、および製品のデザイン・仕様等は、  
予告なく変更になる場合がございます。

Rev.4.0 作成：2022年6月